

研究班番号【 87 】
好まれる顔の違い～メイクの違いから考える～

英語班:森岡 真生、野山 空愛、水谷 はな、菅野 美和

Abstract

The purpose of this study is revealing the differences in people's facial preferences from the differences in makeup. To uncover this, we took a survey on Kozu high school students and foreign people. This study concludes that Japanese people have a stereotype foreign people wear heavy makeup. And, we discovered that foreign people don't always wear heavy makeup from survey results. This study suggests that many of foreign people usually do not wear heavy makeup, and sometimes they wear heavy makeup. And, when we look at them with heavy makeup, we have such a stereotype.

要約

本研究の目的は、メイクの違いから人々の好みの顔の違いを明らかにすることである。これを明らかにするために、高津生と海外の人へアンケートを実施した。このアンケート結果より、日本人には海外の人はメイクが濃いという固定概念があることがわかった。また、海外の人へのアンケート結果から海外ではナチュラルメイクが好まれており、普段はあまり濃いメイクをしていないこともわかった。従って本研究では、海外では普段ナチュラルメイクで過ごす人が多く、何か特別な時に濃いメイクをして、それをsnsを通して私達が目につくことによって海外の人はメイクが濃いという日本人の固定概念が生まれたのではないかと結論づけた。

1. はじめに

メイクはそれぞれの国で特徴がある。昨年のLCIIIの「海外のメイクから見る文化の違い」の先行研究では、日本とアメリカのみのメイクを比較していたが、私達はそれをより深めてヨーロッパなどの他の地域とも比較したいと思った。また、世界のメイクを比較することでメイクの違いから好みの顔の違いがわかるのではないかと考えた。

2. 研究手法

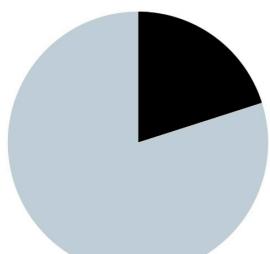
- ①同じ年代で異なる人種の四人の女性の写真を用意する。
- ②それぞれにナチュラルなメイク、濃いメイクを施す。
- ③どちらのメイクの女性が好みであるかをアンケートを取った。

高津高校の生徒164人と、外国人41人を対象にした。外国人にはハロートークという海外の人とコミュニケーションを取ることができるアプリを用いた。

3. 結果

・高津生

A



B

C

D

灰色:79.9%
黒色:20.1%

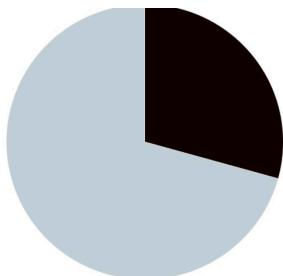
灰色:40.2%
黒色:59.8%

灰色:53.7%
黒色:46.3%

灰色:52.4%
黒色:47.6%

・外国人

A



B

C

D

灰色:70.7%
黒色:29.3%

灰色:78.0%
黒色:22.0%

灰色:61.0%
黒色:39.0%

灰色:75.6%
黒色:24.4%

Aはアジア系、Bはアフリカ系、Cはヨーロッパ、Dはアメリカ系のひとであり灰色はナチュラルメイク、黒色は濃いメイクである。円グラフの灰色はナチュラルメイク、黒色は濃いメイクを選んだ人の割合を示している。

A,B,C,Dの女性は同じ年代の女性であり、国籍は考慮しないものとした。

4. 考察

A、C、Dの人物は、高津生、外国人ともにナチュラルメイクのほうが好みであると答える人の割合が高かった。この結果より、日本人も外国人もナチュラルメイクのほうを好んでおり、普段はナチュラルメイクをしている人が多いと考えた。また、Bの人物では、高津生は濃いメイクのほうが良いと思う人が半数以上であり、対して外国人はナチュラルメイクのほうが良いと思う人が約8割を占めており、結果に大きな差がでた。これは、日本人は”外国人は濃いメイクをしている”という固定概念を持っている人が多いため濃いメイクを選んだ人が多くなったが、実際は、海外では普段濃いメイクをする人が少ないので、ナチュラルメイクを選ぶ人が多くなったからだと考えた。

5. 結論

研究を行う前は、海外の人は濃いメイクをしている人が多く濃いメイクをしている人を好む傾向があると考えていたが、結果と考察より、実際はナチュラルメイクを好んでいる人が多いことが分かり、当初の考えとは異なっていた。この結果を踏まえて、海外の人は普段はナチュラルメイクをする人が多く、なにか特別なときに濃いメイクをして、その姿をSNSなどを通じて私達が目にすることによって”海外の人はメイクが濃い”という固定概念が日本人に生まれたのではないかと考察した。

6. 参考文献ならびに参考Webページ

2022年度LCⅢ「海外のメイクから見る文化の違い」